

# 消防車出動

# 2~3人乗車が7割も

# 基準の63%しかいない消防士、増員を



鈴鹿市消防署本署

# すずか民報

第126号  
2007年11月10日

## 日本共産党鈴鹿市議団 市議会の報告

### 年中無休の消防署、人数はギリギリ

9月議会一般質問で、石田議員は消防職員の不足についてただしました。消防庁の「整備指針」で示された基準では、鈴鹿市は300人配置すべきなのに、実際は188人と、基準の63%しかいません。その上に、各分署の配置人数が少なくなっているのです。

各分署では、救急車の出動が1日数回あり、必ず3人が乗車します。その時に火災出動が重なると、消防車1台に2人しか乗れない、また消防車が出せない事態も起こります。「整備指針」では消防車1台には5人が乗る、条件によつては4人でも良いとされています。ところが鈴鹿市は、基準どおりの4人、5人乗車はたった3割、7割が2人、3人乗車で出動しているのです。

### 救急車出動と火災出動が重なると

石田議員は、「現場に真っ



石田秀三 市議

先に駆けつける分署の消防車に2人しか乗っていないのでは、能力が発揮できない。増員の前倒しと、4人乗車のための工夫を「求めました。消防長、市長とも不足している現場の実態を認め、増員に努力すると答えました。

### ■H18年に火災出動した消防車(75件)の乗車人員内訳

項目	延べ台数	割合%
5人乗車	18台	8.8
4人乗車	42台	20.6
3人乗車	113台	55.4
2人乗車	31台	15.2
合計	204台	100

### ■消防職員の配置人員数(人)

項目	職員総数	1班の職員数	実際の勤務人数
本署(飯野)	51	24	11~15
南分署(白子)	21	10	6~8
北分署(加佐登)	17	8	5~6
西分署(国府)	17	8	5~6
東分署(箕田)	17	8	5~6
鈴峰分署	14	7	3~4

## 市民負担は増える一方、市財政は黒字、貯金も沢山

昨年度の一般会計・特別会計の決算が、9月議会に報告されましたが、その内容は「きびしい財政」と言いながらも、おおむね黒字となり、また各基金(貯金)も増えています。一般会計は新庁舎建設が終わつてもなお、147億円もの基金があります。国民健康保険も「国保税が高くて払えない」市民が多く収納率が8割という中でも黒字を維持、10億円の基金を減らしていません。共産党市議団は、住民税が大増税になり暮らしが厳しくなっている今、安易なため込みをやめて市民のための施策にまわすことを求めています。

## 黒字を保険料値下げにまわせ

介護保険事業(亀山市との広域)は、一昨年の大改悪によるサービスの制限、食事代や部屋代の自己負担化、30%の保険料引き上げによって、高齢者が予定していたほど利用しなかった結果として黒字になっています。基金は5億円にもなっています。

森川ヤスエ議員は広域連合議会でも、「市民から取りすぎて出た利益は、市民に返すべき。基金へ繰り入れず保険料引き下げに回せば、一人6千円は引き下げられる」と主張しました。

### ■平成18年度各会計決算の黒字額、基金保有額

項目	H18年度黒字額	基金への繰入額	基金の現在保有額
一般会計	約11億円	6億円	約147億円
国保会計	約5千万円	0円	約10億円
介護保険会計	約4億円	約2億円	約5億円

(一般会計・基金は、財政調整基金+減債基金。介護保険会計は亀山市との広域事業)

# 中学校給食

## 周辺の市はすべて実施の見通し 鈴鹿市だけがなぜ出来ない？

「市町村合併」を機に、  
いつきに進展

三重県下の中学校給食実  
施率は42・4%、全国44位  
と最低クラスでしたが、こ  
の間ですめられた市町村合  
併のなかで、旧町で実施し  
ていた給食を新市全体に広  
げる自治体が増えて、全国  
平均並みの79・4%になる  
見通しです。

これまで給食をしていな  
かった市部の多くが実施に向  
けて検討を開始、鈴鹿市に  
隣り合った亀山市、四日市市、  
津市も2年ほどで全校で給  
食が始まります。

給食ではない「ランチサー  
ビス」に執着する鈴鹿市

このような動きの中で、鈴鹿  
市は05年から始めた「中学校  
ランチサービス」を今後も続  
けるとして、給食実施への姿  
勢を持っていません。しかし、  
そのランチサービスも利用率  
は06年度5・4%、07年度は4  
・4%と低迷しています。

全中学生5千3百人のうち  
2〜3百人だけしか利用し  
ていない、評判の良くないラン  
チサービスに「だわる鈴鹿市。  
三重県の中でも少数の「中学  
校に給食のない市」になってし  
まいます。

全生徒を対象にした  
給食への転換を

共産党市議団は9月議会の  
中でも、「ランチサービス」は見  
直して、全生徒を対象とし  
た給食への再検討を求めま  
した。

■三重県下自治体の  
中学校給食実施状況  
■実施または予定  
□未実施



## 介護認定者は 税の障害者控除ができます

知らずに損しないよう、  
対象者に個別通知を

森川ヤスエ議員は9月議  
会で、介護認定になってい  
るお年寄りや家族の負担を  
少しでも減らすために、税  
の障害者控除が受けられる  
ことを、市が本人に通知す  
ることを求めました。

介護認定を受けている高  
齢者は、障害者手帳がなく  
ても市が証明書を発行すれ  
ば、障害者控除の対象にな  
ります。要介護2〜3は障  
害者控除27万円、4〜5は  
特別障害者控除40万円など、  
その分だけ所得税や住民税  
が安くなり、介護保険料や  
利用料にも影響します。

しかし、市内に3千人ほ  
ど介護認定者がいるのに、  
市の証明書発行は38件しか  
なく、多くの市民がこの制  
度を知らないままです。

森川議員は、対象となる  
市民全員に市が個別に通知  
するなど、親切な対応を求  
めました。市は広域連合と  
連携して個別通知を行なう  
ことを約束しました。

## 母子家庭切り捨て、手当減額に

### 市ができる支援策を

来年4月から、母子家庭  
への児童扶養手当が減額さ  
れる改悪が行なわれます。

母子家庭になって「5年  
たったから自立すべき」とい  
う理由で、一方的に切るや  
らうことでは、命綱がなくなると  
いうことです。



森川ヤスエ 市議

森川議員は、市として支援  
できることとして、①家賃補  
助、②保育料の減額、③学童  
保育やファミリーサポートセ  
ンターの利用料補助、などを  
行なうことを求めました。

### 生活相談など お気軽に連絡下さい

石田 秀三 TEL 371-0423  
鈴鹿市伊船町2751  
森川ヤスエ TEL 384-3740  
鈴鹿市矢橋3丁目10-34



小学校のために給食センター新築工事が始まりました